

(敬称略)

◆プログラム◆

12時20分 開 会

- ・挨拶 三村 明夫 「未来を選択する会議」共同代表【議長】
日本製鉄株式会社 名誉会長
- ・政府代表挨拶

12時50分 第一部 若者世代からのメッセージ

「未来に向けて、いま私たちにできること」

- 小林 味愛 「未来を選択する会議」共同代表／株式会社陽と人 代表取締役
- 池本 修悟 若者支援全国ネットワーク協議会 呼びかけ人
- 越智 未空 特定非営利活動法人manma 代表理事
- 篠田真貴子 エール株式会社 取締役
- 山本 蓮 地方女子プロジェクト 代表

13時50分 休 憩

14時00分 第二部 パネル・ディスカッション

「人口減少時代の生き方、くらし方、働き方を考える」

- 増田 寛也 「未来を選択する会議」共同代表
株式会社野村総合研究所 顧問 <コーディネーター>
- 阿部 守一 長野県知事／全国知事会会長
- 翁 百合 株式会社日本総合研究所 シニアフェロー
- 宮本 太郎 中央大学法学部 教授
- 白山 友美子 マルハニチロユニオン 中央執行委員長

14時45分 締めのことば

- 芳野 友子 「未来を選択する会議」共同代表／日本労働組合総連合会 会長
- 平井 伸治 「未来を選択する会議」共同代表／鳥取県知事

15時00分 閉会

アンケートへのご協力をお願いいたします



「未来を選択する会議」

WEBサイトはこちら

<https://iroiromirai.jp>



<お問い合わせ先>

「未来を選択する会議」事務局
(公益財団法人日本生産性本部内)

メールアドレス／contact@iroiromirai.jp

未来を選択する会議

Since 2025

発足記念シンポジウム プログラム

私たちの未来に
いま私たちが
できることを
考えよう



10/27^月
12:20～15:00
イイノホール

人口減少時代の生き方、暮らし方、働き方を考える

人口減少が進み、社会や経済、地域、そして日々の生活に大きな影響を及ぼしつつある日本。

このシンポジウムでは私たち一人ひとりが希望する「生き方」「暮らし方」「働き方」を実現し、豊かに安心してくらすことができる社会づくりに向けて語り合うきっかけを作ります。

未来を選択する会議 発足記念シンポジウム 登壇者のご紹介 (敬称略)

第一部

若者世代からのメッセージ

「未来に向けて、いま私たちにできること」12時50分～



小林 味愛

「未来を選択する会議」共同代表
株式会社陽と人 代表取締役

東京都出身。慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、衆議院調査局入局。経済産業省出向、(株)日本総合研究所を経て、福島県国見町に陽と人を設立。福島の規格外農産物の流通など地域資源を活かして地域と都市を繋ぐ事業を展開。福島のあんば柿の皮を活用したフェムケアブランド『明日 わたしは柿の木にのぼる』は多数の賞を受賞。女性の健康課題に関する普及啓発も推進。内閣官房「新しい地方経済・生活環境創生会議」有識者構成員。子育てをしながら福島と東京の2拠点で活動。



池本 修悟

若者支援全国ネットワーク協議会 呼びかけ人

大学進学時にNPOを起業し、NPOの事業サポートや社会活動を行う人たちのネットワーク化など社会事業に取り組む。2017年に首都圏若者サポートネットワークを立ち上げ、虐待・貧困などで親に頼れない若者を支援する助成事業や政策提言を推進。法政大学大学院連帯社会インスティテュート教授、武蔵野大学アントレプレナーシップ学部客員教授、日本ユースリーダー協会副理事長、ユニバーサル志縁センター専務理事、社会創発塾代表理事を兼任。



越智 未空

特定非営利活動法人manma 代表理事

1994年生まれ。若者が多様な家族に触れ、生き方を考える「家族留学」を全国で展開し、これまで1,000名以上に提供。自治体や教育機関と連携し、キャリアと家庭を主体的に描く力を育むライフデザイン支援を推進。男女共同参画・少子化関連顕彰事業「活動賞」や東京都女性活躍推進大賞「優秀賞」を受賞。子ども家庭庁や自治体での講演・委員活動も多数。



篠田 真貴子

エール株式会社 取締役

慶應義塾大学経済学部卒、米ペンシルバニア大学ウォートン校MBA、ジョンズ・ホプキンス大学国際関係論修士。日本長期信用銀行、マッキンゼー、ノバルティス、ネスレを経て、2008年から2018年にほぼ日取締役CFOを務める。2020年にエール参画。社外人材によるオンライン1on1で企業の組織改革を支援。人と組織の関係や女性活躍に関心を寄せ続ける。メルカリ社外取締役、経済産業省「人的資本経営の実現に向けた検討会」委員。『LISTEN—知性豊かで創造力がある人になれる』監訳。



山本 蓮

地方女子プロジェクト 代表

1999年生まれ、山梨県韮崎市出身。2023年に経済産業省採択事業「未踏的女子発掘事業GRIT」に参加し、「地方女子プロジェクト」を開始。地方の女性流出の問題に当事者のインタビューを通じ本音を発信するSNSを運営。現在、韮崎市男女共同参画推進委員、内閣官房「地域・職場働き方改革推進会議」有識者。NHK「クローズアップ現代」出演(2024年・2025年)で大きな反響。2025年、地方創生2.0「若者・女性に選ばれる地方」に向けて石破総理と車座を開催。

第二部

パネル・ディスカッション

「人口減少時代の生き方、暮らし方、働き方を考える」14時00分～



増田 寛也 〈コーディネーター〉

「未来を選択する会議」共同代表
公益財団法人日本生産性本部 副会長
株式会社野村総合研究所 顧問

東京大学法学部を卒業後、建設省へ入省。1995年から岩手県知事(3期12年)、総務大臣を歴任。東京大学公共政策大学院客員教授や日本郵政社長としても活動し、2025年6月から現職。「日本創成会議」座長、「令和国民会議(令和臨調)」共同代表、「人口戦略会議」副議長を務めるなど、人口減少問題をはじめ日本の将来に向けた様々な提言活動を展開している。主な著書に『地方消滅【東京一極集中が招く人口急減】』、『東京消滅—介護破綻と地方移住』、『地方消滅【創生戦略篇】』(共著)、『地方消滅2』(人口戦略会議編著)。



翁 百合

株式会社日本総合研究所 シニアフェロー

京都大学博士(経済学)。日本銀行を経て(株)日本総合研究所に入社。主席研究員などを経て、2018年から2025年6月まで理事長を務める。2025年7月より現職。現在、金融審議会委員、政府税制調査会会長なども兼任。関心分野は、金融システム、経済政策、社会保障など。著書に『金融危機とブルーデンス政策』(日本経済新聞出版社)、『国民視点の医療改革』(慶應義塾大学出版社)など。



白山 友美子

マルハニチロユニオン 中央執行委員長

2008年にマルハニチロ水産(現・マルハニチロ)に入社、えびの輸入に携わる。2015年より企業別労働組合マルハニチロユニオン専従役員としての活動を始め、2018年に中央書記長、2021年より中央執行委員長を務める。上部団体である日本食品関連労働組合総連合会(フード連合)では2021年より副会長を務める他、国際経済労働研究所理事、労働政策審議会労働条件分科会労災保険部会臨時委員を務め、働く者の立場からより良い社会の実現に向けて尽力。



阿部 守一

長野県知事／全国知事会会長

東京都出身。東京大学法学部卒業。自治省入省後、長野県企画局長、副知事、総務省過疎対策室長などを務める。総務省退職後、2007年横浜市副市長、2009年内閣府行政刷新会議事務局次長を経て、2010年9月に長野県知事就任。現在4期目。2025年9月に全国知事会会長就任。



宮本 太郎

中央大学法学部 教授

北海道大学名誉教授。中央大学大学院法学研究科修了。福祉政治論専攻。内閣府参与、総務省顧問、男女共同参画会議議員、社会保障制度改革国民会議委員などを歴任。現在、社会保障審議会・福祉部会臨時委員、地域共生社会の在り方検討会議座長、『月刊福祉』編集委員長などを務める。単著に『貧困・育児・介護の政治—ベーシックアセットの福祉国家へ』(朝日選書)、『共生保障「支え合い」の戦略』(岩波新書)、『生活保障 排除しない社会へ』(岩波新書)など。編著に『子どもが消えゆく国の転換』勁草書房など。